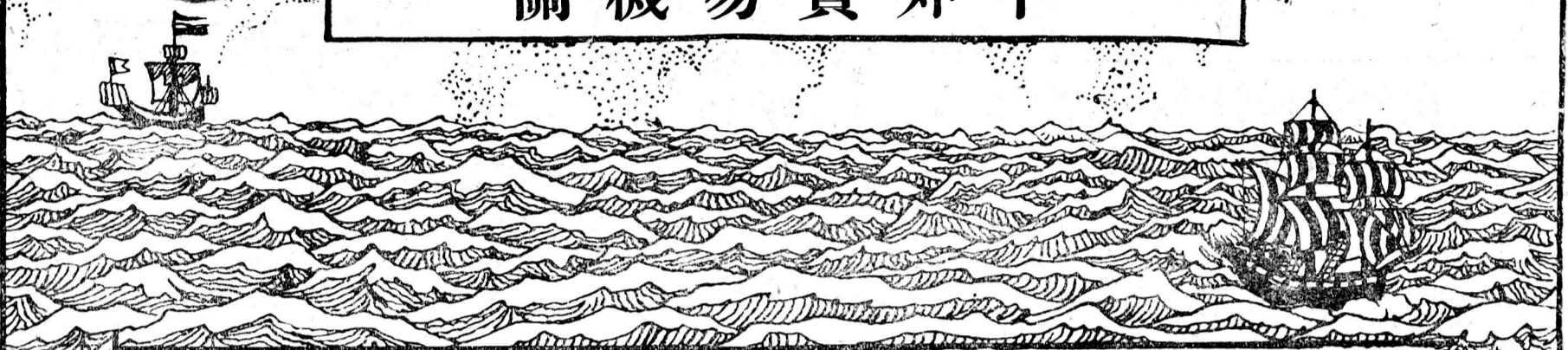


# 日新報

## 中外貿易機關



# 十二月週年紀念

### 論商業信用

(頌)

信用二字。大概為人類所必需。而於商業上則尤為重要。無論古今中外。凡經營商業者。必當確守信。其營業乃能持久而日臻於發達。所謂信用者何。姑舉舊日最普通最淺顯之言以明之。即貨真價實。童叟無欺是也。斯言也。吾知雖無商業智識之人。皆當共同了解。豈經商者獨不知之。天下決無是理。奈何今之從事於商業者。輒背其道而行之。絕不思信用為何事。冒充商牌。劣貨抵換。久已司空見慣。毫不為奇。甚至同一貨物。於彼則須價若干。於此則較昂若干。已足令顧主疑彼方之價。亦未必誠實。狡黠之商人。且視顧主為何如人。以定其貨價之高下。於是買者賣者有討價還價之事。吃虧與便宜。其相去不可以道里計。雙方時間上之損失姑不論。而廣詐之惡習。遂成爲商界中一種風氣而莫能外。

原商業信用之不顧。多由於商業道德之墮落。祇知如何足以廣招顧客。暢銷貨物。博廉價之名。而隱隱其利。不日周年紀念。廉價一月。必曰大廉價贈彩。以酬顧客。甚至標本號大減價幾星期。卒無始終日期。此種舉動。向時惟上海數見不鮮。人謂之滑頭生意。就中雖有純爲推廣營業計。真正減輕其利益。而大多數則將原定貨價。無端提高。或以惡劣貨物相渾充。在買者以爲得計。不知賣者之取盈。什百倍於平時。不過藉此以吸收顧主而已矣。安有所謂信用也耶。

時。不過藉此以吸收顧主而已矣。安有所謂信用也耶。

蓋近頃商業行爲。大都效法於此項猾商之所爲。不特不顧信用。簡直情同欺騙。吾人常聞有延不寄貨者。有名爲贈送樣貨。而其所收之郵票。或過於貨物價值者。尋是以往。於自身之商業固不利。而人之視商業廣告。幾無一顧之價值。必致一般商業。並蒙其不利益之影響。商業何由而使之發展。設不於此時而有以矯正之。不特信用日衰。其營業亦必日損。矯正之責。匪異人任。商會實尸之矣。至於以股東之資本。私營其規定營業外之營業。利則歸己。虧則歸公。尤爲商人之不道德。足以寒資本家之膽。而自絕其生機。但此似關於個人之信用者多。非本論範圍所當詳述。故略言焉。

總之八類以道德爲重。商業道德。則以信用爲先。慎毋以機械的行爲。顧目前而不圖永久。所謂弄巧成拙。殊不合算。商界鉅公。應亦不乏明達。蓋即起而有以維持其真不二價之信用也耶。

### 中法實業銀行

中法實業銀行創立之議實始於民國元年是時熊希齡爲財政總長與六國銀行團磋商借款迄無成議而斯時中國又感輸入外資之必要於是東方匯理銀行商諸熊比中法共同出資組織股份有限公司之銀行先以提倡實業爲前提俟信用昭著即可利用此金

融機關輸入外資民國二年(一九一三年)中國與法國締結組織中法實業銀行之條款依據法國法律辦理

並經中國政府之特許而該行遂告成立矣中法實業銀行資本總額定爲四千五百萬佛郎計分九萬股每股爲五百佛郎法國在華之東方匯理銀行及英商福公司佔股最多股份爲分創辦股及通常長股兩種創辦股共爲三千股通常股共爲八萬七千股創辦股權力較優據股東會之規定每股有六票之權而通常股則每十股方有一票之權中國有創辦股一千股及通常股二萬九千股

兩者合計佔全股份三分之一惟該行與中國政府訂定開業二十五年以內此兩種股份均不得抵押與轉售云云中法實業銀行成立後設總行於法京巴黎分行設於中國者爲北京天津上海三處三行得發行紙幣兼辦儲蓄存款惟營業年限定爲十九年據其章程之規定業務經營範圍甚廣其性質爲銀行而其目的則在掌握中國利權例如第五條之規定有經營關於農礦工程製造之租賃權利第六條之規定可代理中國在國內外支付各種公債本利等事項以及第十三條之規定承攬各種工程及實業護與權繼續權如開埠築港修造以及敷設軌路等該行開業後在中國營業成績民國十二年一月十二日法國國會對於該會政府恢復中法實業銀行之計劃業通過井經駐京法使與中國政府商定後代理中法實業銀行營業之中法實業經理公司已於陰曆癸亥年新年(十二年二月二十六日)開始營業云(完)



告白

神戶市榮町三丁目  
株式會社 **三井銀行**  
神戶支店  
電話三宮(長三)番三三四番  
電話三宮(長三)番三三四番  
振替口座 大阪一八九九番

資本金壹億圓  
株式會社 **十五銀行**  
本店 東京市  
神戶支店 神戶市仲町卅五番  
榮町支店 神戶市榮町三丁目  
西支店 大阪市西區立賣堀  
北通五丁目

資本金壹億圓 (全額拂)  
積立金七千參百萬圓  
株式會社 **橫濱正金銀行**  
本店 橫濱市  
大阪支店 大阪市東區淡路町四丁目  
電話本局(自五)番一〇〇番  
電話本局(自五)番一〇〇番  
電話本局(自五)番一〇〇番  
神戶支店 神戶市榮町通三丁目  
電話三宮(自二)番一〇〇番

神戶支店 神戶市榮町二丁目  
電話三宮 三五〇二番  
電話三宮 三五〇三番  
株式會社 **加島銀行**  
電話西(三五)番二〇〇番  
電話西(三五)番二〇〇番  
電話西(三五)番二〇〇番  
川口支店 大阪市西區本田一  
神戶市西町  
神戶支店 電話(五〇)番七  
電話三宮(三一)番八七

製成品目  
自動洋襪編織  
機器用針  
各式緊身針布  
織機器用針  
シンガー針板  
其他各種  
針自造批發

商標 **辰**  
森辰號  
大阪北區天滿橋筋三丁目  
電話北四三八九番  
振替大阪九三〇八番

登錄商標  
各種卸鈕  
製造輸出  
高田卸店  
大阪市東區谷町五丁目  
電話東四〇六〇番

香香水油自造輸出  
TRADE MARK  
品質佳良  
價格公道  
佐原忠次郎商店  
T. SAHARA  
PERFUME'S FACTORY.  
MANUFACTURER & EXPORTER OF  
PERFUMERY  
HAIR OILS & ALL  
TOILETGOODS  
電話南(八六)番二二番  
電話南(八六)番二二番  
電話南(八六)番二二番

自製批發目錄  
登錄  
セルロイド 玩具  
セルロイド 手鐲  
セルロイド 梳櫛  
捲烟用咀  
薄荷玉  
薄荷腦  
其他雜貨  
商標 **KO**  
小山定號  
大阪市南久太郎町一丁目  
電話船場(三二)番一九番  
電話船場(三二)番一九番  
振替大阪六一二番

登錄商標  
各種玻璃鏡  
輸出  
吉村號  
日本大阪市東區博勞町二丁目  
電話船場九六番

牙刷牙刷  
皮靴刷  
頭髮刷  
牙髮梳  
剪髮梳  
橡皮樹  
膠玩具  
其他  
新樣  
移轉  
大阪東區南久寶寺町一丁目二十六番地

U. YAMANAKA & Co.,  
Kitahorie-dori 3-chome, Nishiku, Osaka.  
Exporters of Thelmos Bottles.  
Thermos  
營業課目  
月印法魔器  
月星印法魔器  
鐘馗印法魔器  
自造輸出商  
目丁三通江堀北區西市阪大  
**會商器法魔卯中山**  
電話長新町 番九一六三  
番二二三  
目丁一町川櫻波難區南市阪大 場工屬金  
町田神東波難區南市阪大 場工五製  
目丁二島福上區北市阪大 部出輸

衣刷牙刷  
皮靴刷  
頭髮刷  
牙髮梳  
剪髮梳  
橡皮樹  
膠玩具  
其他  
新樣  
移轉  
大阪東區南久寶寺町一丁目二十六番地  
KINSUKE  
ARAKI & CO.  
OSAKA.  
TRADE MARK  
地番六十二目丁一町寺寶久南區東市阪大  
**店商助金木荒**  
電話場二番八三六、番〇九〇四  
町東野吉田野西區北市阪大  
前驛尾八郡內河中下府阪大 **廠工**

川上塗料製造所  
自造批發本舖  
Manufacturers & Exporters of  
VICTORY FOWL BRAND  
ENAMEL, AND  
VARNISHES Etc.  
錄登商標  
於化學工業博覽會受領銀牌  
鳥牌色漆油  
鳥牌黑洋漆  
鳥牌藍色顏料  
其餘各種塗料  
顏料自造批發  
大阪市外今宮町今池  
阪堺線今池停留場東前池  
電話或長一二四四番

大阪市東區南農人町二丁目三六



# 貿易根本策の樹立

## 貿易不振を爲替下落の原因

輸出貿易が我が國家經濟上重要な地位を占むる事は茲に事新らしく述べる迄もない事である、然るに我が對外貿易は大正八年以來毎年輸入超過の一方にあり本年の如きは七月末日迄に既に六億七千萬圓の入超過を見るに至り只纔かに七月下旬の貿易に於て僅少なる輸出超過を見るに至りて稍々愁眉を開くを得たりと雖も今後又如何なる變調を辿るや保し難き状態にあるのは國民の齊しく憂慮に堪へざる所である、歐洲大戰の好影響を受け大正四年七千五百八拾五萬七千圓の輸出超過を現實してより翌五年、六年、七年と都合四箇年間輸出超過を繼續し累計拾四億八百四萬八千圓の巨額に達せりと雖も大正八年に入りて七千四百五拾八萬圓の入超過となつて以來本年に至る迄六箇年の間毎年輸入超過となり其の額は本年六月末日現在に於て累計貳拾貳億七千五百參拾貳萬四千圓の巨額に達してゐる。而して之を大正四年より同七年に至る迄の前記出超額拾四億八百四萬八千圓に對比する時は差引八億六千七百貳拾七萬六千圓の輸入超過となつて居る我國貿易の趨勢以上の如くにして一時貳拾貳億圓に近づいた正貨は今や減じて拾六億餘圓となつてゐるが若し此の貿易状態にして依然改善さるゝ所なくんば正貨は益々減少するに至るべく而して正貨の減少は金輸出の禁止と相俟つて我對米爲替を下落せしめ五十弗を以て相匹敵すべき我國の百圓は最近四十一、二弗に低下し八拾餘圓の相場に過ぎざるに至つた事は單り

## 先づ第一に貿易局

### を農商務省に新設して貿易の發展を計ること

今日の貿易業者は噴火山の上に立てるの觀があり全く危険に瀕してゐるものも尠くない之れは只資金關係とか又は原料關係を言ふので無い、營業の種類品目の如何に依つては其の販路杜絶し又は生産費に苦しめられて販路を奪取され又は販路開拓に多大の犠牲を拂ひし結果進退兩難の境遇に在るものが尠くない事である加ふるに金融難等の故障伏在し業容益々紊れ遂には業界一般に大なる衝動を興ふるに至れるものが尠くない、斯の如きは國家的立場に立脚して自ら噴火山の上に立てると同様である。貿易が國策上重大なる地位を占むるものである限り國家として之を保護し又獎勵するの當然の義務と謂はねばならぬ、故に貿易事務を統一して其の販路の擴張に努め又一面生産費を低下せしめ製品に對しては嚴重なる検査を施し取引に對しても安全確實を期せしめねばならぬ。

の意氣も存するのである。

に貿易局の新設されんことを提唱するものである、現在の如く貿易に關する事項が三省數局に分屬して其の統一を缺くが如きは決して時勢に伴ふの途にあらざるのみならず此の難關に善處する事が不可能である、貿易は外國市場に於て競争もせねばならぬ所謂對外的の事業であるから之に對して政府は積極的の方針を指示し業者をして安全に其の嚮ふ所を知らしめねばならぬ、我貿易が今日の如く逆調を呈するに至つたのは商品の粗悪にも原因すること勿論であるが事茲に至つた以上は改めて其の根本方針を樹立して更に陣容を整ひ徹頭徹尾發展を計らねばならぬ、今日の悲境は之を一日たりとも看過することを許さぬのである、即ち一日を忽にせば夫れだけ列國に乗せらるゝ事となり販路に又原料に幾多蒙る所の不利益は蓋し尠少でない。

## 對支貿易額

### 倍々増加す

我國の輸出貿易は支那を以て其の第一なるものとすることは夙に識者の知る所にして今更喋々を要せざる所である。支那は此の點に於ては我國の寶庫とも謂ふべき重要な地にある、又支那としても地理的其他に於て我國とは離るべからざる關係を有し我國の文化に負ふ所が尠くない、本年一月以降七月末日迄に至る我對支貿易は輸出貳億參拾萬圓、輸入九千五百拾七萬四千圓にして差引壹億九百七拾貳萬七千圓の輸出超過となり之を前年に比較すれば輸出に於て五千八百八拾貳萬圓を増し輸入に於て千貳百參拾壹萬九千圓を減じ益々其の好望なることを示してゐる。對支貿易業者は宜しく此の機先を逸せず積極的の政策を樹立して大に突進せねばならぬ、尙ほ一月以

地方別	輸出	輸入
滿洲	四八三	四三三
北支那	六三九六	三三三
中支那	一三九九六	二六四四
南支那	六六	三五六
計	二五、二七六	七、三五
出超	一八、〇二一	

## 辯護士試験期日

大正十二年法律第五十二號に依る試験(司法官候補及辯護士の資格に關する件)は左の日割で東京帝國大學で執行する事に決した。

六月六日憲法、民法▲七日商法刑法▲八日民事訴訟法、刑事訴訟法▲九日國際私法、選擇科目

## 鼠耳鼻目

奢侈品關稅定率が改正されて一躍十割となつたに就て特に目立つて來たのは何であらうか

▲先づ第一番に目に附くものは香水原料及び貴石、貴金屬類であらう此等の營業者は在庫品のある内は「値上げはせぬ」と言明してゐる▲其の代りに何時在庫品が賣り切れるか知れぬから一日も早く買つて呉れと言つてゐる尤もな事である▲又中には贅澤品でも自分の所ものは國産品であるから關稅が掛らぬ安心して買つて呉れと云ふ様な宣傳をやつて居る向きも尠くないやうだ▲此の贅澤品と云ふ奴は時に必需品に早變りする事もあつて又各人生活の程度に依つても

差異があるから這般の改正關稅種目を一概一様に見做すことは出來ない、▲併し此等の商品を取扱つてゐる者が當分の間神經を惱ます事は確かだがアマリ心配する程の事もあるまい、誠實に勉強さへすれば懼れる事は無い只慎しむべきは暴利である▲然し關稅改正の爲めに暴利を貪る事が出來なくなつてビク附いてゐる者が相當にあるやうだが物は考へ様一つでござうてもなる▲卸貳拾貳圓の金時計を七割の高價に賣つてゐた向もあるが今度は高い關稅が掛るのだから思ひ切つて十割以上にも賣れば尙更利益は多いが問屋がさうウマク卸すか何うかは疑問である、何れにしても關稅改正は相當のショックを興へた事はたしかである▲昨

降七月末日迄の地方別輸出入額を舉ぐれば左の如くである。

今には到る所に不景氣の風が吹いてゐる大阪の政商平林某なども破産の申請をされてゐる夫れにしても神戸の某政商などは政府から何千萬圓かを借り入れ(銀行を通して)たとか借り入れるとか豪勢な事である▲近頃鳴りを靜めてゐる石井某に對して又々妙な噂が立つてゐる夫れと多少の關連を以て高知商業銀行の破産事件も強制和議でゴタ／＼してゐるが肝腎の金を貸して背任で起訴され今は保釋になつてゐる某などは悠々避暑氣分で呑氣に暮してゐる▲然かもあるだけ



# 珙瑯鐵器界の重鎮

## 陸商株式會社の事業

陸商株式會社は大阪市東區平野町二丁目難波橋筋南入に本社を新設し社長河野順三氏自ら一切の采配を振ひ主として珙瑯鐵器類を販賣し其の販路は内地は勿論支那、滿洲の各地に亘り又南洋歐洲へも新販路を開拓してゐる。而して此の陸商株式會社の販賣に係る珙瑯鐵器は日本最大の工場として知られてゐる株式會社河野製作所の製造に係るものにして噴々たる名聲を博してゐる。同製作所は明治四十二年六月の創立にして初め河野豐太郎氏の個人經營なりしが業務逐年盛大なるに及んで其の規模を擴張し資本金五拾萬圓の株式會社に變更し今や其の年産額は百數十萬圓を算するの盛況に到達し

さうものである。次に「洗面器」である、小なるものは菜入れ、化粧用中ごろのものは洗面用に大なるものは洗濯に又行水に産湯用等盟代用として諸種の用途を有し利用の範圍極めて廣大である。此洗面器は時に汚染を免れざるも石鹼を以て洗滌せば一段の美觀を増し元の美しさに還る。以上數種類の浪波鍋及び洗面器は何れも重寶便利なるものにして販路は人類の棲息する所廣大無邊である。從來同製作所の此等製品は大阪市内一流の商店に卸賣をなしつゝあつたが前記陸商株式會社の新設するに及んで販賣を統一し同會社の手に依つて支那を初め滿洲の各地に亘つて直接販賣を開始し眼醒ましき活動を開始した。又陸商株式會社は珙瑯看板部を大阪市南區八幡筋電車停留所前(電話南三九六九番)に設置し橋本進氏を之が主任となし手廣く營業

を開始した、此の珙瑯看板は充分研磨された良質の鐵板に一千度以上の高熱を通して文字を焼付けけるものであつて普通珙瑯看板と全く趣きを異にしてゐる、普通珙瑯看板は單純なる文字でなければならぬが此は夫れと趣きを異にし多色多様のものを石版に出し其の焼付けは獨特のオフセット式に依るものであるから如何なる色彩でも自由に表示する事が出来る、店頭看板の良否は店の盛衰に關する所極めて大なるものであるが同製作所の珙瑯看板は店頭美を添ふる上に於て一段の光彩を放つものである。陸商株式會社は以上の營業を主とし尚ほ諸種の雜貨類も取扱ひ株式會社河野製作所と提携して日本の珙瑯鐵器界を縦斷する勢力を有してゐる、尙ほ社長河野順三氏は河野製作所の専務取締役として同所を双肩に擔ふて居る敏腕家である。

## 輪奐の美を誇る

# 奉天の藤田洋行

## 行主藤田九一郎氏の成功譚

奉天浪速通藤田洋行主藤田九一郎氏は明治三十三年支那に渡り芝罘に駐ること數年にして後日露戰爭後奉天に移り日本雜貨及び舶來品の雜貨商を營み拮据經營茲に二十餘年の歳月を闊し偉大なる成功を收め現に奉天商業會議所會頭に選舉され巨萬の富を重ね同地隨一の紳商として振くべからざる勢力を扶植して居る。

合名會社藤田洋行の建築は奉天建築界の代表にして浪速通二十四番地に在り建坪百六十坪延坪四百四十五坪レネエスサンス式にして大

正七年六月基礎工事に着手し同年十月竣成し越えて九年六月建築工事に着手し同十二年十月全工完成此の間四十箇月を要し高さは地盤より棟頂上迄七十五尺同圓塔頂上迄八十尺にして間口九十一尺奥行五十九尺一階天井下十七尺二階同十五尺三階十三尺の三階建にして九十坪の陳列室十五坪の事務室十一坪の應接室と十五坪の地下室とを有し其の仕様及び材料等何れも代表的の優良品を使用してゐる氏は神戸市の出身にして青年の折常に諏訪山に上りて其の快を遣り

つゝありしが眼下に居留地及遙かの海上を眺め外國人が神戸一等の場所を占め意氣揚々たるに刺激され奮然起つて海外に赴き二十餘年の間不斷の努力を拂ひ遂に今日の成功を見るに至つたのであるが這

歐洲大戰以後土耳其古ロシア波斯等の氈毯工場相次いで倒産するや中國の氈毯が歐米に輸入さるゝに至り、歐洲市場に於て天津氈毯の名は顯著となつた。此の種氈毯は悉く天津に産出するにあらずして大抵蒙古及び北京附近より製出されたるものが天津を経て輸出されし爲め西洋人は遂に名づけて天津地氈と云ふに至れるものである。中國の北部の氈毯製造區域は極く廣

の便を藉りて北京天津に運ばるゝものも甚だ多い。各種羊毛中最良品を綿羊毛となし駱駝羊及び山羊毛とに次ぐ。故に氈毯の品質の良否は全く所用原料の如何によりて異なつて居る。即ち同種原料中に亦粗細毛の別あり、大抵細毛は性質柔軟にして弾力を有し顯微鏡を以て之を檢すれば其の纖維は常に松針狀を呈し每一英吋に有する所の犬齒交錯狀は常に三千分の一英吋ある。其劣悪なるものは每一英吋に有する犬齒交錯狀は僅に六百有餘あり其の直徑は約二百分の一乃至七十五分の一英吋ありて其の纖維の粗細は甚しく不同である。總て高等の氈毯も其彩色光澤織法等紫甚しく相異し且つ同一羊毛中又春毛及び秋毛の別あるが紡織の時大部分は春毛及び乳羊毛を交へて居る。其の羊毛は牧羊者により自由に剪取され分類良しからず品種複雑なる爲め歐人之を歓迎せざるを以て輸出は發達せない。北五省の牛羊業者は内地に於て毛顯を收取せる後再度別選を行ひ不同の等級となすも其の選擇の方法は各々相同じからず唯毛類固有の脂肪は努めて洗滌し後日の染色に便する。其の脂肪洗滌濟のものに對しては或は鹹水を用ひ或は石灰を用ひ又は石鹼を使用する。然れども石灰性は強きに過ぎて水質を損じ、石鹼は價高くして不經濟である。鹹水は前二者に比較して甚だ佳良なりとは云ひ能はざるもこれらと混合して多く之を用ひる脂肪洗滌後天日に乾燥して再び荷造して賣出すのである。此等の原料は紡織前必らず彈工をして其の品質の疎鬆を檢して後使用する。彈毛の方法は大體二種ある。一は硬木張弓を以て内地の彈棉方法の

## 支那に於ける氈毯工業

潤に亘り東は奉天に起り西は哈密に至り此等の工業あらざるなく其の規模大小不同にして或は數人を使役し又は數十人を使用して居る輸出港は北は天津、南は上海を以て首位とする。

如くし他は則ち多數の鐵鉤を懸け工人をして毛を取り鉤上にて之を分析し分散せしむるのである。此の方法は今日用ゆることが少ない且つ此の種の方法にて精製する所の羊毛は極く劣悪にして長纖維を悉く切斷せしむる故織り上げし氈毯の毛頭は甚だ短い甘肅等にありても亦羊毛を紡ぎ細繩となし賣出す者がある。北京方面にありては斯種毛線を分ちて大體三とする。第一類の毛線は最も精細なる毛線を用ひて紡成せるものにして専ら高等氈毯用に供せらる。第二類の毛線は混するに綿絲及び毛髮を以てし、第三類毛線は全く狗毛、牛毛及綿絲を以て紡織せるもので最下等の氈毯は則ち之を以てつくれるものである。

は全く立志奮闘の賜にして青年時代の意志を貫徹した譯である、功成り名遂げた氏は組織を合名會社に改め藤田洋行主として東西に活躍し其の新館が輪奐の美を誇ると共に氏の名聲赫々たるものである

染料の方法 今日中國の氈毯を改良せんと欲せば則ち染色法に着眼するのが最も良法である。昔日甘肅寧夏にて染めし色は最も著名にして永久不變に褪色すること

がなかつた。歐戰以前にありてはアニリン染料が廉價なりしたため染毛者は多く之を用ひたるも戰後染料昂騰し染色更に進歩せず且つ所要の染具は一の鐵釜にして先づ染料を釜の水中に溶かし一旦染めんと欲する毛線を投入し常に必らず兩三度の復染を経て求むる如き色彩に達せしむべく且つ染工は長き經驗を具ふるにあらざれば染色不均等にして又深淺不一となり雅觀を缺ぐ。

染料の種類 舊式の氈商が用ひし所の染料は種類多からず其の媒染劑も亦多く購求せられなかつた。各種色澤中には唯黃藍二色が最も佳良にして黄色氈毯は昔日帝王宮中の御料品となりたる爲め斯色を染むる者は極く經驗に富むものであつた。







**日本著名 貿易家須知**

各種襪 各種圍裙 各種圍裙 各種圍裙

**稻垣政七商店**

大坂市東區南久寶寺町三丁目

電話船場(六七七番 六七八番)

白骨、黑骨 (紫屋町東入)

黃銅、白銅 其餘頭髮用品一切自造

**井野號**

大坂市東區北久寶寺町一丁目

電話船場三七四二番

各式 緊身布針 自造輸出

**池田莫大小針**

製造廠 池田彌吉

大坂市南區北桃谷町五十三番地

各種洋手巾 自造輸出

**濱口俊介商店**

大坂市東區本町四丁目

電話本局(二七五二番 四七五三番)

九重線香皂 芝蘭黑香皂 其餘各式鏡子自造輸出

**春元製造所**

大坂市東區十二軒町

電話長東二二番

各種帽子 自造批發

**林兵商店**

大坂市西區西長堀橋北通五丁目八番地

電話新町一八二三番

閃花毯子 棉線毯子 批發

**服部慶治郎**

大坂市西區京町堀上通五丁目

電話土佐堀一三三番

各種暖水瓶 各種暖水瓶 各種暖水瓶

**二和商店**

大坂市西區南堀江日吉橋北通

電話櫻川二一三七番

各種莫大 小B牌 毛中頂上 襪子自造

**西村金商店**

大坂市西區南久寶寺町三丁目

電話新町(長七九三番 二八六七番)

各種 刷漆 樹膠玩具

**荒木金助商店**

大坂市東區南久寶寺町一丁目

電話船場二六三八、四〇九〇番

各種化妝品 自造輸出

**細田花蝶園**

大坂市西區河波堀通三丁目

電話新町一四四五番

自造輸出 各種香皂

**錦生洋行**

大坂市東區德井町二丁目

電話東三二九番

莫大小製 造批發 陸軍軍用品各種

**小川商店**

大坂市東區京橋三丁目八

電話長東三六二七番 振替口座大阪一八一七番

各種 鈕釦子 製造輸出

**太田宗助商店**

大坂市東區北久寶寺町五丁目

電話船場(長一八四番 一八五番)

防寒日出帽 南洋印度用 毛線小孩帽 自造整發

**太田金作商店**

大坂市外豐崎町南派

電話北(長二〇九二番 五八一七番)

各種 帽子 製造輸出

**河村潤三郎商店**

大坂市北區朝日町二四番地

電話北一二九番

金銀洋 鑲嵌品 自造輸出

**加藤武商店**

大坂市東區末吉橋通四丁目

電話船場六六九、一九二九番

各種 布種 輸出

**加戶商店**

大坂市西區南久寶寺町三丁目

電話土佐堀一〇七六番

魔法磁 玻璃製品 玩具寶具

**川西秀一商店**

大坂市南區惠美須町四丁目二二番

電話戎一八七九番

各種時鐘 並雜貨漆 器輸出

**米田商店**

大坂市西區江戶堀下通四丁目

電話土佐堀二七六四番

絨線粗 線日 線日 線日

**吉川豐助商店**

大坂市西區京町堀通一丁目

電話土佐堀長六七五番 一四四、六七六、四四八番

毛絲加 工品雜 貨輸出

**高岡卯號**

大坂市西區北通二丁目

電話土佐堀四一〇五番

各種 鈕釦 製造輸出

**高田卸店**

大坂市東區谷町五丁目

電話東四〇六〇番

輸專 出造 洋織 記爲鳥浮

**武鹿銀治郎**

大坂市東區農人橋通 一丁目谷町西入

電話東一四八二番

各種 貝鈕 自造輸出

**辻伊洋行**

大坂市東區安上町四丁目

電話本局二七〇九番

貴金屬製造 自造輸出

**辻田富商店**

大坂市西區立賣堀南通一丁目

電話新町一〇九五番

洋傘 並原料 輸出

**津和洋行**

大坂市東區橫堀四丁目

長電話本局二三三番

ゴム(樹膠)製品 印刷牛奶器 製造販賣

**中村利三郎商店**

大坂市東區平野町二丁目堺筋

電話本局(長九七六番 五七一六番)

各種 信 批發

**村上武男商店**

大坂市西區京町堀 上通一丁目

電話土佐堀五五六二番

各種 玻璃 洋燈罩 玻璃洋燈 玻璃洋燈 玻璃洋燈

**上田西號**

大坂市西區北堀通四丁目

電話新町二五五三番

各種 耀 明 號

**耀明號**

大坂市西區川口

電話西一二八二番

各種 橡皮 製靴製造 輸出

**松山號貿易部**

大坂市東區博勢町心齋橋筋北

電話長船場二五五九番 振替大阪九五九番

各種 香皂 化妝品 自造整發

**松井號本店**

大坂市東區博勢町五丁目

電話船場一〇七二番 振替大阪九五八番

各種 牙粉 化妝品 自造輸出

**共同工業株式會社**

大坂市西區阿波液中通一丁目

電話新町九九九番

各種 藤村眞三商店

**藤村眞三商店**

大坂市西區南通二丁目

電話土佐堀(六一一八二番 六一三五番)

白骨、牛角卸 烟咀、イドロ、ス、雜貨自造輸出

**藤森東號**

大坂市東區南久寶寺町四丁目

電話船場一三六〇番

各種 洋傘 及附屬品 輸出

**二川商店**

大坂市東區北久寶寺町四丁目

電話船場一七六二番

緊身布汗衫 手袋、洋襪 並雜貨輸出

**福島洋行**

大坂市北區西野田今開町

電話土佐堀(二四六一、二四六三 二四六二、二四一三四)

靴、墨汁 製造批發

**小林商店**

大坂市南區難波元町一丁目七五三

電話南五五二〇番 振替大阪二二九三番

各種 單需要 記章鈕釦 雜貨金銀 各種輸出

**小山治號**

大坂市西區阿波堀通一丁目

電話新町九九三番

橡皮製品 蚊香線香 男女手鏡

**小山定號**

大坂市東區南久太町一丁目

電話船場(三二一九番 二二八九番)

男女 文明梳 各種夾髮針 各種磁頭針 其餘頭飾品 自造批發

**中芳號**

大坂市東區久寶寺橋西詰

長電話船場三三八〇番 振替大阪九〇八〇番

各種 玻璃 洋燈罩 玻璃洋燈 玻璃洋燈 玻璃洋燈

**光耀洋行**

大坂市南區榮町一丁目五番地

電話櫻川一三八七番

各種 洋傘 及附屬品 輸出

**澤田商店**

大坂市東區南久寶寺町四丁目

電話船場(一一五二番 一五六四番)

各種 洋傘 及附屬品 輸出

**寺西撚絲會社**

本社 大坂市外豐崎南派 電話北四八七三番

出張所 大坂市北區東梅田町 電話北一四二九番

各種 鈕釦 製造

**青山輝三商店**

大坂市東區谷町四丁目

電話東一九〇番 振替大阪八三五七番

白緊身布 汗衫、襪 自造輸出

**安泰洋行**

大坂市西區江戶堀上通二丁目

電話土佐堀(長一八三番 一四七八番)

老虎牌 皮靴、皮鞋 製造輸出

**赤松號**

大坂市東區南本町四丁目

電話船場二一〇八番

緊身布汗衫 洋襪、手袋 製造輸出

**荒井健次郎商店**

大坂市東區備後町三丁目

電話本局四九四番

石盤、石筆 鉛筆、文具 各種雜貨

**淺井兵號**

大坂市南區大寶寺町中ノ町六五

電話長南四八二六番

各種 刷帚 各種刷帚 各種刷帚

**澤田商店**

大坂市東區南久寶寺町四丁目

電話船場(一一五二番 一五六四番)

各種 玻璃 洋燈罩 玻璃洋燈 玻璃洋燈 玻璃洋燈

**三好製造工廠**

大坂市南區西園手町

電話櫻川(一一七三番 一七三番)

各種 洋傘 及附屬品 輸出

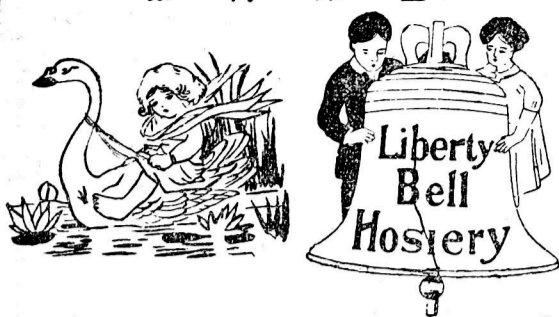
**清水政洋行**

大坂市東區南久寶寺町四丁目

電話船場八九五番



標商錄登



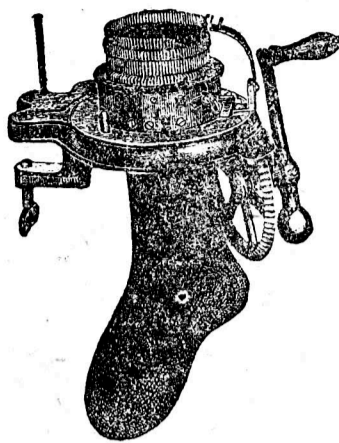
各手緊身布衛生絨、各衫洋袴下、洋襪自造輸出

綿谷兄弟商行

大阪市西區江戶堀下通 四丁目四二

電話(長)一三五九 土佐堀(短)二二六〇

牌翼羽 登錄



西尾 莫大小 紡織機 製造所

電話北五二一〇番 振替大阪二九九八番

洋手捲肚布、襪套、一筋橋滿天區北市阪大、前所留停江野車電阪京

於各種博覽會受領優等賞牌

織造洋襪機器

發批造製品套粧等頭



各博覽會受領優等賞牌

◆玲玲香皂 ◆面香粉 ◆玲玲雪花

其餘化粧品一應俱全

大阪市西區南堀江下通一丁目

合資會社 松本竹商店輸出部

電話櫻川(二三)〇四番 (三三)五番

緯為實忠以經為實確以易交號本



馬珠牌螺甸雲母鈕

出輸造自切一貨雜並鈕釦花餘其

大阪市南區安堂寺橋通三丁目

小林號 電話船場五五四番

各種ペーパー 金剛砂輸出商

モーター印 大阪市南區難波元町一丁目

標商錄登

タンク印 ビストル印



岡田ペーパー製作所 大阪出張所

商品見本御入用の節は御 申込次第無代進呈可仕候

電話戒五三六番 振替大阪六二二九九番

各種假漆(油漆) 塗料乾燥劑 各種擦銅油 五色漆油 自造批發



大阪市南區東區南市阪大 番四三七三南話電

大阪貿易同盟會指定旅館

天津日本祖界花園街

茶代廢止 太陽館

電話一六七五番

標商錄登 山花月香

竹葉香・月華香・伏屋牌 驅蚊香・榮花香・惠風香 其餘薰香一切自造整發

近時模造做行製品者賜顧 諸君請留意本商牌購取庶免 魚目混珠謹伏

大阪市東區北久寶寺町三丁目 花月香本舖 野村七寶堂 電話船場一五〇二



各樣

十九號牌 鞋靴油墨 鞋靴墨膏 金屬磨油 玻璃磨臍子 簿記用墨汁 自造輸出



町橋鶴郡成東府阪大 所業工學化倉小

番九二〇二南話電

支那商標登錄願引受

支那ニ代理局ヲ特設セリ

支那當局ノ諒解アリ

詳細ハ葉書又ハ電話ニテ照會アレ

三町元戸神 社報新華日

番五一四六宮三話電



玩具 烟咀 梳櫛 橡皮 金屬 雜貨 鞋靴紐 洋毛巾 各種

大阪市東區博勞町五丁目

合資會社 足立藤號 電話船場四三三八番







祝創刊二十周年

橫濱正金銀行  
大阪支店

鐘淵紡績株式會社  
營業部

株式會社加島銀行

住友合名會社

“EAGLE”

OSAKA ABE PAINT FACTORY

Established in 1888

PAINT, ENAMEL, YARNISH, RED LEAD,  
WHITE ZINC, OIL.

鷲牌

日本老牌油漆製造販賣

製品種目

各種漆油  
光明丹  
亞鉛華  
鉛粉油  
汽漆油  
油漆油  
色漆油  
其他塗料一切

貴客如欲觀本所價單樣子請函  
寄速奉不悞

大阪阿部イソト製所

大阪西區西野下町

Manufacturers & Exporters  
Metal Lamps and Metal Wares,  
OF

B. KATO & Co.

Yotsubashi, - - - - -  
Sueyoshihashi-Dori 4-chōme,  
Minamiku.

OSAKA, JAPAN.

輸出商



加藤武商店

大阪市南區末吉橋通四丁目

電話船場 二九六九番

金屬洋燈  
金屬製品  
自造輸出



# 號會覽博上紙念記年週十二



專賣特許第二八八二四號  
 實用新案第三三三五七號  
 實用新案第三五六一五號  
 實用新案第五三六九五號  
 意匠登錄第一〇四六六號

## 山彥除蟲菊株式會社

營業所 大阪市南區東清水町  
 東京市神田區柳原河岸  
 工場 和歌山縣有田郡保田村

### 臭蟲藥粉

### 滅蚊盤香

上開特許  
 權係證明

効力如神  
 使用簡便  
 安全無害  
 裝璜優美  
 製品儉省

者色特大五之

# 美顏水

にきび  
ごり

根治暗瘡

美顏化粧料本舖

## 館天順谷桃會合名

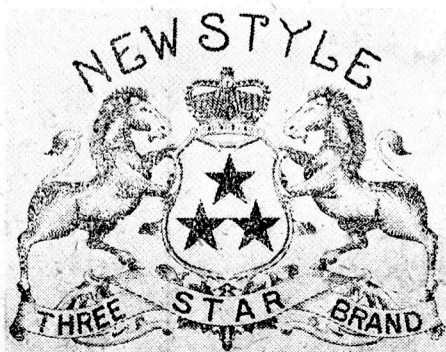
町岡市區西市阪大

地番四十二町日朝區北市阪大

### 店商郎三潤村河

番一一九一北話電

商標局登錄



中華民國政府

### 各種帽子 自造批發

(明治三十五年五月十六日第三種郵便物認可)

定價一回參拾錢

廣告料(五號活字一每五拾錢)

發行編輯

品川二三郎

發行所

神戸市元町通三丁目一三五

華新報社